

**幕張新都心モビリティコンソーシアム 令和5年度中間まとめ報告会
議事要旨**

時間： 2023年10月6日(金) 10:00～11:00

場所： 千葉市役所新庁舎（高層棟2階）XL会議室 201～203/オンライン併用

議題

- (1) PTの進捗報告
- (2) アンケート集計結果
- (3) 2023年度千葉市事業

配布資料

資料 幕張新都心モビリティコンソーシアム中間まとめ報告会資料

議事内容 () は発言者

1. 開会

2. 議題

- (1) PTの進捗報告
 - アイサンテクノロジー株式会社様及びイオンモール株式会社様より「自動運転バス社会実装PT」及び「巡回バス機能の向上による回遊性向上PT」について説明。
 - 巡回バス機能の向上による回遊性向上PTは、上期にオンデマンドシステムについて調査・研究を行った。
 - その結果、幕張新都心エリアにおいてオンデマンドシステムは目的・効果が適しているか疑問があったことから、新たに自動運転によるエリア内の交通の最適化や回遊性向上を図ることとし、自動運転社会実装PTとともに、新たな1つのPTを立ち上げる。
 - 今後、同エリア内の巡回バスの自動運転社会実装を目指し、検証を行っていく。

【質疑応答】

- (質問：株式会社幕張メッセ様)
 - 自動運転化する巡回バスは、どのようなルートを回るのか。
- (回答：イオンモール株式会社様)
 - まだ確定していないが、現在巡回バスが走っているイオン海浜幕張店や幕張メッセ前を通過し、イオンモール幕張新都心に至るルートを想定している。

- Super Massive Global 株式会社様より「MASSIVE WORLD 活用 PT」について説明。
 - 回遊を行うアクセスポイントの設置場所等について議論し、選定しているところ。
 - アプリのリリース状況について、当初のスケジュールより遅延が発生している。
 - 今後、選定したアクセスポイントの事業者と掲載許可について協議を行っていくとともにアプリの開発・周知を進めていく。

【質疑応答】

- (質問：株式会社 NTT ドコモ様)
 - 前回 MaaS を行った際にビジネスモデルが課題となったが、今回ポイント配布におけるビジネスモデルはどのように考えているか。
 - アクセスポイントにはユーザを判定する媒体を設置するのか。
 - (回答：Super Massive Global 株式会社様)
 - ユーザからの課金やアクセスポイントの設置場所となる店舗からの集金を想定している。
 - 基本的にはビーコンを設置する予定。また、ビーコンの設置が困難な場合はジオフェンスを活用して対応していく。
 - (質問：株式会社 NTT ドコモ様)
 - 選定したアクセスポイントについて、稲毛方面等にはあまり設置していないように見えるが、どのような基準で選定したのか。
 - (回答：千葉市)
 - 幕張新都心をメインとした取り組みであることから、そのエリアをメインとしつつ、海浜幕張駅からバス路線のある駅方面までアクセスポイントを選定した。また、回遊性を高めるためにアニメの聖地巡礼等により回遊するルートを意識して設定した。
 - (質問：東京海上日動火災保険株式会社様)
 - ユーザは住民と来訪者の主にどちらを想定しているか。
 - (回答：Super Massive Global 株式会社様)
 - 主に千葉市外の方が来訪して回遊することを考えているが、もちろん在住の方にも利用していただきたい。
- (2) アンケート集計結果
- 千葉市より資料に沿って説明。
 - 既存のモビリティサービスの中では、自動運転に関する興味が強い。
 - 千葉市やコンソーシアム会員に求めることとしては、補助金等の支援や各企業との連携を期待する内容についての意見が多い。

- 今後、各企業のソリューションを共有する仕組みが必要と考えている。

【質疑応答】

- (質問：京セラコミュニケーションシステム株式会社様)
 - 他企業との連携を考えている企業は実は沢山いると思うが、自主的に動き出せていない状況があると感じている。例えば、PTを立ち上げるための他企業とのマッチングできる機会などを設定していただきたいと考えている。
- (回答：千葉市)
 - ご意見のとおり、PT立ち上げまでの間に連携する仕組みは必要と考えている。現状、他企業との連携等を考えている場合は、事務局である千葉市にご相談いただきたい。調整させていただく。

(3) 2023年度千葉市事業

- 千葉市より資料に沿って説明。
 - 今年度行う事業としては、サービスモデル策定事業化検討支援とデジタルツインを活用した自動運転車サービスの導入支援の2つに整理した。
 - サービスモデル策定事業化検討支援は、幕張新都心における各種モビリティの将来的なサービスモデルの社会実装像を策定し、その具体策の提案や会員間の調整等を行うもの。
 - デジタルツインを活用した自動運転車サービスの導入支援は、リアル空間をデジタル上に再現し、再現空間の中で実証を行っていく事業を支援する取り組みとなる。
 - ただ、各種取り組みにおいて、別途実証実験を行うために補助金制度を活用したい場合は、更なる財源確保を行う可能性もあるため、相談いただきたい。

3. 連絡事項

- 事務局より、以下の点を説明。
 - 本日の資料及び議事要旨は千葉市ホームページへ公表する。
 - 第7回総会は来年3月頃に開催する予定。
 - 特定小型原動機付自転車シェアサービス実証実験の運営事業者をOpen Street株式会社様に決定した。

4. 閉会

以上